

令和3年青森県花き生産状況

農産園芸課

1 概況

令和3年の本県花きの生産状況は、作付面積が82ヘクタール（前年比94%）で、前年に比べ約5ヘクタールの減少、出荷数量が1,373万本・万鉢（同94%）で、前年に比べ約90万本・万鉢の減少、出荷額が12億2100万円（同106%）で、前年に比べ約6,800万円の増加となった。また、栽培農家数は639戸（同97%）と、前年に比べ20戸減少した。

要因としては、作付面積や出荷数量の減少については高齢化等による栽培農家数の減少や野菜等への作付転換などが、出荷額の増加については切り花類や鉢物類の販売単価の増加によるものと考えられる。

表1 生産状況

（単位：ha、万本・万鉢、百万円、戸、%）

年次 \ 項目	作付面積	出荷数量	出荷額	栽培戸数
令和3年	82	1,373	1,221	639
令和2年	87	1,462	1,153	659
令和3年/令和2年	94	94	106	97

【農産園芸課調べ】

（注）数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の比と表の値が一致しない場合がある。

2 作付面積

（1）切花類

切花類の作付面積は約58ヘクタール（前年比94%）で、前年より約4ヘクタール減少した。

品目別では、キク類（大中輪ギク、小ギク、スプレーギク等）が約16ヘクタールと最も多く、花き全体の19パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが約8ヘクタール、サクラ（枝物）が約7ヘクタール、ヒマワリが約3ヘクタール、アルストロメリアが約2ヘクタール、バラ及びカンパニュラが約1ヘクタールの順となった。

トルコギキョウ、アルストロメリアは前年より増加し、カンパニュラは前年並、キク類、サクラ（枝物）、ヒマワリ、バラは減少した。

（2）鉢もの類

鉢もの類の作付面積は約7ヘクタール（前年比87%）で、前年より約1ヘクタール減少した。

品目別では、シクラメンが約1.34ヘクタールで最も多く、次いでポットローズが約1.3ヘクタール、サクラソウが約0.3ヘクタールとなった。

（3）苗もの類

苗もの類の作付面積は約3ヘクタール（前年比93%）で、前年より約0.2ヘクタール減少した。

表2 作付面積

(単位：a, %)

区別	年次		年次		R 3/R 2	
	令和3年	割合	令和2年	割合		
切花類	5,803	71	6,206	71	94	
主要品目	キク類	1,559	19	1,643	19	95
	トルコギキョウ	817	10	771	9	106
	サクラ(枝物)	730	9	815	9	90
	ヒマワリ	316	4	372	4	85
	アルストロメリア	192	2	182	2	105
	バラ	123	2	189	2	65
	カンパニュラ	97	1	98	1	99
	カーネーション	97	1	99	1	98
	アスター	85	1	92	1	93
	リンドウ	85	1	99	1	86
	宿根カスミソウ	84	1	75	1	112
	ストック	65	1	108	1	60
	グラジオラス	57	1	53	1	107
	デルフィニウム	55	1	100	1	55
	ユリ類	52	1	53	1	98
その他	1,389	17	1,457	17	95	
鉢もの類	683	8	789	9	87	
主要品目	シクラメン	134	2	184	2	73
	ポットローズ	130	2	100	1	130
	サクラソウ	28	0	27	0	103
苗もの類	284	3	307	4	93	
花木類	162	2	162	2	100	
芝類	400	5	400	5	100	
球根類	850	10	835	10	102	
合計	8,182	100	8,699	100	94	

【農産園芸課調べ】

：青森県花き振興方策の重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

3 出荷額

(1) 切花類

切花類の出荷額は7億5,300万円(前年比108%)で、前年より5,900万円増加した。

品目別では、キク類(大中輪ギク、小ギク、スプレーギク等)が2億5,200万円(同106%)と最も多く、全体の21パーセントを占めた。次いで、トルコギキョウが1億7,400万円(同107%)、アルストロメリアが1億900万円(同106%)、バラが4,800万円(同101%)、ヒマワリが2,400万円(同117%)、カンパニュラが2,200万円(同133%)の順となった。

(2) 鉢もの類

鉢もの類の出荷額は3億1,100万円(前年比103%)で、前年より800万円増加した。

主な品目では、ポットローズが1億1,000万円と最も多く、シクラメンが8,100万円、サクラソウが2,900万円となった。

(3) 苗もの類

苗もの類の出荷額は9,500万円（前年比94%）で、前年より600万円減少した。

表3 出荷額

(単位：百万円, %)

区別	年次		年次		R 3/R 2	
	令和3年	割合	令和2年	割合		
切花類	753	62	694	60	108	
主要品目	キク類	252	21	237	21	106
	トルコギキョウ	174	14	162	14	107
	アルストロメリア	109	9	103	9	106
	バラ	48	4	47	4	101
	ヒマワリ	24	2	20	2	117
	カンパニュラ	22	2	17	1	133
	宿根カスミソウ	22	2	16	1	136
	ストック	9	1	10	1	87
	アスター	6	1	7	1	94
	カーネーション	6	1	6	1	98
	サクラ(枝物)	5	0	7	1	66
	リンドウ	4	0	6	1	64
	デルフィニウム	3	0	5	0	60
	ユリ類	2	0	2	0	115
	グラジオラス	2	0	2	0	109
	その他	64	5	45	4	141
鉢もの類	311	25	303	26	103	
主要品目	ポットローズ	110	9	90	8	122
	シクラメン	81	7	52	5	156
	サクラソウ	29	2	24	2	120
苗もの類	95	8	101	9	94	
花木類	1	0	1	0	133	
芝類	37	3	30	3	125	
球根類	25	2	25	2	99	
合計	1,221	100	1,153	100	106	

【農産園芸課調べ】

：青森県花き振興方策の重要品目及び地域振興品目

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

4 地域別の生産状況

(1) 作付面積

地域別では、中南地域が約23ヘクタールで全体の28パーセントを占め、次いで東青地域が約20ヘクタール、西北地域が約19ヘクタール、三八地域が約16ヘクタール、上北地域が約4ヘクタール、下北地域が約0.4ヘクタールとなった。

(2) 出荷額

地域別では、中南地域が4億2,900万円で最も多く、次いで三八地域が2億7,600万円、西北地域が2億4,800万円、上北地域が2億1,100万円となった。

上北地域では、作付面積は約4ヘクタールと少ないものの、ポットローズ等の鉢ものの生産により単位面積当たりの出荷額は多くなっている。

表4 地域別生産状況

(単位:a、%、百万円)

地域	作付面積					出荷額			主な品目
	令和3年	割合	令和2年	割合	R3/R2	令和3年	令和2年	R3/R2	
東青	2,029	25	2,149	25	94	55	42	131	キク、トルコギキョウ、カーネーション、デルフィニウム、スターチス
中南	2,274	28	2,486	29	91	429	408	105	アルストロメリア、トルコギキョウ、バラ、キク、サクラソウ
三八	1,553	19	1,645	19	94	276	264	104	キク、トルコギキョウ、カンパニュラ、シクラメン、サクラソウ
西北	1,920	23	1,944	22	99	248	240	103	キク、トルコギキョウ、シクラメン、宿根カスミンウ、デルフィニウム
上北	362	4	422	5	86	211	197	107	ポットローズ、観葉植物、カラコエ、キク、バラ、ポインセチア
下北	44	0.5	54	0.6	82	3.07	3.14	98	トルコギキョウ、キク、アスター、ベゴニア
合計	8,182	100	8,699	100	94	1,221	1,153	106	

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

5 バケツ出荷の状況

切花の鮮度保持のためのバケツ出荷は、JA花き部会を中心に実施されている。

品目別では、トルコギキョウはバケツによる出荷量が51万1千本で約44パーセントで実施されており、キク類は43万4千本で約13パーセント、カンパニュラは31万5千本で100パーセント、ヒマワリは9万7千本で約23パーセント、キンギョソウは3万2千本で約44パーセント、デルフィニウムは6千本で約23パーセントなどとなった。

表5 切花類のバケツ出荷状況 (単位：a、千本、%)

品 目	施設・露地栽培計			
	作付面積	出荷数量	バケツ出荷量	バケツ出荷率
トルコギキョウ	817	1,152	511	44.3
キク類	1,559	3,483	434	12.5
カンパニュラ	97	315	315	100.0
ヒマワリ	316	418	97	23.2
キンギョソウ	34	71	32	44.3
デルフィニウム	55	26	6	23.0
その他	342	1,448	15	1.0
合 計	3,219	6,914	1,409	20.4

【農産園芸課調べ】

(注) 数値は小数点以下を四捨五入しているため、各数値の合計値と合計欄の値が一致しない場合がある。

6 JAの花き生産の状況 (JA全農あおもり取扱状況)

(1) 花き取扱状況

JA全農あおもりの令和3年花き取扱量(県内JAの全取扱数量)は、約621万本(前年比100%)と前年より約2万本増加した。

また、販売額は5億6,300万円(同108%)と前年より4,300万円増加した。

(2) 販売額割合

県出荷額に対するJA全農あおもりの販売額のシェアは46パーセントと前年より1パーセント増加した。

表6 JA全農あおもりの取扱状況

(単位：千本、百万円、円、%)

項目 年次	農協数	数量	販売額	単価	県出荷額	シェア
令和3年	8	6,212	563	91	1,221	46
令和2年	8	6,193	520	84	1,153	45
R3/R2	100	100	108	108	106	102

【JA全農あおもり調べ】

(注) シェア：(JA全農あおもり販売額÷県出荷額)×100